

## 正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申し上げます（2023年2月20日）

## ■第1版 第1刷（2023年1月5日発行）の修正・更新箇所

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
コラム アーチファクトに関して					
27	図3A	脳波の誘導に誤り		※1参照	23/02/20
第2章2 脳波モニタリングの適応と応用					
58	下から6行目	…曖昧な波形に出会うことがあります。ACNS2012 <sup>8)</sup> では3Hz以上の…	…曖昧な波形に出会うことがあります <sup>8)</sup> 。ACNS2012 <sup>9)</sup> では3Hz以上の…		23/02/20
65	図7 左上の枠内3箇所	欠伸発作	欠伸発作	p188 図2も同様	23/02/20
第2章3 critical care EEGその1：背景活動の異常所見					
90	図7	脳波の誘導に誤り		※2参照	23/02/20
第2章4 critical care EEGその2：発作に関連する異常所見					
98	図1	片側性(Literalized:L)	片側性(Lateralized:L)		23/02/20
98, 99	図1, 上から25行目	周期性発射(Periodic Discharge: PDs)	周期性発射(Periodic Discharges: PDs)		23/02/20
100	上から2行目	右大脳半球に約1HzのPDsがみられます。しかも右大脳半球のPDsが…	左大脳半球に約1HzのPDsがみられます。しかも左大脳半球のPDsが…		23/02/20
111	上から4行目	5～59分をlong, …	10～59分をlong, …		23/02/20
112	図12	monophasic, biphasic, triphasic	monophasic, biphasic, triphasic		23/02/20
第2章5 NCSEの診断					
126	上から11行目	sharp-and-wave(鋭除波)	sharp-and-wave(鋭徐波)		23/02/20
141	図15 説明文、上から1行目	各区間で最大電位の分布がF3とF3/C3の間で行き来している。	各区間で最大電位の分布がF7とF7-T3の間で行き来している。		23/02/20
143	上から9行目	熟練された神経生理士が…	熟練された脳波技師が…		23/02/20
コラム 急性症候性発作とてんかんの狭間で					
156	下から1行目	SeleCT score	SeLECT score		23/02/20
第2章6 てんかん重積状態 ～けいれん性てんかん重積状態を中心に～					
163	図3 左から2列目	保険適用外 通常は1,000～3,000mg	通常は1,000～3,000mg	情報更新 (2022年8月の 適用改定に応じて)	23/02/20
167	上から14～17行目	日本では、てんかん重積状態への保険適用がなく、加えて1日最大投与量が3,000 mg であり、…	ただし、てんかん重積状態への1日最大投与量が保険適用上は3,000 mg であり、…		23/02/20
第2章7 NORSE					
178	表1	Wemick脳症, Cryptococcus, Alzheimer	Wemicke脳症, Cryptococcus, Alzheimer		23/02/20
第3章1 皮質下出血症例 ～NCSE without coma～					
195	上から3行目	…に広がっており (図9□)	…に広がっており (図9□)		23/02/20
第3章3 意識変容の原因精査を行った症例					
217	表1	所見訂正		※3参照	23/02/20
第3章4 時間外に緊急で脳波モニタリングを必要とした意識障害の症例					
233	表	所見訂正		※4参照	23/02/20
234	上から4行目	MCSz (ESz)と診断できる。	NCsZ (ESz)と診断できる。		23/02/20

※1



※2

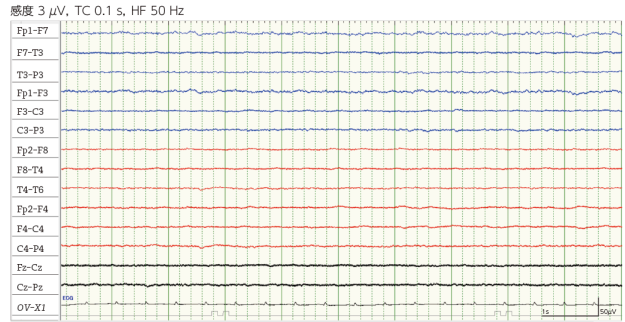


図7 重度脳障害の脳波

※3

表1 ベンゾジアゼピンテスト前の所見用紙

Main term 1	Main term 2	Plus (+) Modifier	
G : Generalized	PDs	No +	
L : Lateralized	RDA	+ F	PDs or RDA のみ
BI : Bilateral Independent	SW	+ R	PDs のみ
UI : Unilateral Independent		+ S	RDA のみ
Mf : Multifocal		+ FR	PDs のみ
		+ FS	RDA のみ

Major modifiers		Background	
Frequency	Evolution	Background EEG frequency	Stage II Sleep Transients
$\geq 4/s$	Evolving	Delta	Present and normal (例: hump と spindle 両方認める)
3.5/s	Fluctuating	Theta	Present but abnormal (例: hump と spindle のいずれかを認める)
3/s	Static	$\geq$ Alpha	Absent (例: 睡眠構造を認めない)
2.5/s			
2/s			
1.5/s			
1/s			
0.5/s			
< 0.5/s			

NCSE : あり  
 ・初学者は plus modifier なしでも構いません。  
 ・GPDs + FR や GSW も正解とします。  
 ・本症例では実際は evolving もありましたが、本稿では割愛しております。

※4

表 本症例の所見用紙

Main term 1	Main term 2	Plus (+) Modifier	
G : Generalized	PDs	No +	
L : Lateralized	RDA	+ F	PDs or RDA のみ
BI : Bilateral Independent	SW	+ R	PDs のみ
UI : Unilateral Independent		+ S	RDA のみ
Mf : Multifocal		+ FR	PDs のみ
		+ FS	RDA のみ

Major modifiers		Background	
Frequency	Evolution	Background EEG frequency	Stage II Sleep Transients
$\geq 4/s$	Evolving	Delta	Present and normal (例: hump と spindle 両方認める)
3.5/s	Fluctuating	Theta	Present but abnormal (例: hump と spindle のいずれかを認める)
3/s	Static	$\geq$ Alpha	Absent (例: 睡眠構造を認めない)
2.5/s			
2/s			
1.5/s			
1/s			
0.5/s			
< 0.5/s			

NCSE : あり